



携帯電話より先人の教え

中学生 星野 藍14 (東京都文京区)

昨年6月の登校時間帯に発生した大阪北部地震に關連し、保護者からの要望などを受け、大阪府教育委員会は4月から、公立小中学校への携帯電話などの持ち込みを認めた。しかし、私は必要ないと考えている。

確かに、災害時には安否確認が大事だが、大勢の人は、自分の身は自分で守ることだ。私は、肉親にもかまわず各自ばらばらに、一刻も早く逃げて自分の命を守れという「津波でんでんこ」の教えを知っている。この教えは津波以外の災害時でもいえる。大切な人の安否は気になるが、まずは、相手の無事を信じ、自分の命を自分で守る。携帯電話の普及前からあるこの先人の教えをよくかみしめ、本当に携帯電話などが必要かを考えてほしい。